

英語科学習指導案

日時 平成21年11月19日(木) 5校時
学級 1年B組(男子13名、女子14名、計27名)
場所 1年B組教室
指導者 教諭 照井 勇 孝

1 単元名 Unit 8「はじめてのカナダ旅行」(NEW HORIZON English Course Book 1)

2 単元について

本単元は、学習指導要領の(3)言語材料 エ 文法事項(ア)文 d 疑問文のうち、疑問詞で始まるものを受けて位置づけられたものである。言語活動として、2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること、イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること を位置づけたい。このユニットは絵美、慎、マイク、ジュディの4人が冬休みにカナダ旅行をするという設定で、日本を出発し、カナダの空港に降り立つ場面までの対話が扱われている。Part 1がどこにあるかを尋ねる、Part 2が誰の持ち物かを尋ねる、Part 3が有名人について友達に尋ねる、という流れとなっている。

本単元では疑問詞 **where** を用いた疑問文と **in, under** などの場所を表す前置詞を用いた応答文、疑問詞 **whose** を用いた疑問文と **mine, yours** などの人称代名詞の所有格を用いた応答文、**him, her** などの代名詞の目的格を学習する。疑問詞を含む疑問文では **what, how many, which**, などを学習してきた。また、基本文が教科書本文に繰り返し現れている。様々な疑問詞との違いを明らかにして、それぞれの形、意味、用法を理解させ、表現の幅を広げさせたい。

2 生徒の実態

生徒は入学以来、中学校で初めて本格的に学習する英語という教科に対し興味や意欲を持って学習に取り組んでいる。また落ち着いた態度で授業に臨んでいる。教師の問いかけに対する反応は、積極的に挙手して発言する生徒がいる一方で、恥ずかしさのためそれができない生徒がいるのも事実である。ペアワークやインタビューゲームは好んで行う生徒が多い。しかし分からない単語があるとコミュニケーションをやめてしまったりするケースも見られる。

英語の学習にあたっては新出単語の意味調べを毎時の予習としている。それに対する取り組みはよくできている。また本校全体で取り組んでいる週末課題には意欲的に取り組んでおり提出率も比較的良いと言える。しかし、時間が経過しこれまで数回のテストを見る限り学力差が現れてきている。話すことに対しては積極的に取り組むものの書くことは苦手としている。下位の生徒への配慮を心がけ、十分な練習量を確保し、適切な支援を行い定着を図りたい。

3 単元の目標と単元の評価規準

(1) 単元の目標

- ・ものがどこにあるかたずねたり、それに答えたりすることができる。
- ・**Where ... ?** の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ものの持ち主についてたずねたり、それに答えたりすることができる。
- ・**Whose ... ?** の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・人についてたずねたり、それに答えたりすることができる。
- ・人称代名詞の目的格の形・意味・用法を理解し、表現できる。

(2) 単元の評価規準

単元名	コミュニケーションへの意欲・関心・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化の知識・理解
Unit 8 はじめての カナダ旅行	・積極的に言語活動に取り組もうとする。 聞き返したりしてコミュニケーションを継続しようとする。	・話したい内容を正しく伝えることができる。 ・聞かれた内容に対して正しく答えることができる。	・話された内容を正しく聞き取ることができる。 ・書かれた内容を正しく読み取ることができる。 ・教科書本文の内容を正しく理解することができる。	文の形・意味・用法を理解することができる。

5 指導計画と評価規準 (5時間計画)

学習内容	コミュニケーションへの意欲・関心・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化の知識・理解
Part 1 where...?の文とその応答	積極的にものがどこにあるかたずねたり、それに答えようとする。	Where...?を用いてものがどこにあるかたずね場所を表す前置詞を用いて答えることができる。		前置詞 in, on, under を使った文の形・意味・用法を理解し、表現することができる。
Part 1 where...?の文とその応答のスキット作り (本時)		Where...?を用いてものがどこにあるかたずね場所を表す前置詞を用いて答えることができる。		Where...?の文と応答の意味・用法・形を理解し、表現することができる。
Part 2 Whose...?の文とその応答	積極的にものを持ち主についてたずねたり、それに答えようとする。			Whose ... ? の文と応答の形・意味・用法を理解できる。
Part 3 人称代名詞の目的格		人称代名詞の目的格を用いて人についたたり、それに答えることができる。	教科書本文の内容を正しく理解することができる。	人称代名詞 mine, yours, his, hers の形・意味・用法を理解し、表現することができる。
Unit のまとめ			書かれてある英語を読み、話された英語を聞き内容を理解できる。	それぞれの文と応答の形・意味・用法を理解できる。

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- Where...?を用いてもものがどこにあるかたずね場所を表す前置詞を用いて答えることができる。
(表現の能力)
- Where...?の文と応答の意味・用法・形を理解し、表現することができる。
(言語や文化についての知識・理解)

(2) 本時における具体の評価規準

	具体の評価規準		C (支援が必要な生徒) への具体的な手だて	評価方法
	B 概ね満足できる	A 十分に満足できる		
話すこと	Where...?を用いてもものがどこにあるかたずね場所を表す前置詞を用いて答えることができる。(表現)	Where...?を用いて何も見ないでもものがどこにあるかたずね、場所を表す前置詞を用いて答えることができる。	前置詞の使い方、疑問文の語順や発音等について板書やワークシートを用いて確認する。	机間指導 ペア活動での発表
書くこと	Where...?の文と応答の意味・用法・形を理解し、表現することができる。(言語や文化についての知識・理解)	Where...?の文と応答の文を使ったスキットを完全に書くことができる。	教科書などを参考にするように支援する。	机間指導

(3) 本時について

本時は新学習指導要領解説の2 内容 (1) 言語活動 ア 聞くこと (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること、イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えることを具現化したものである。本時は Where...?の文とその応答を前時に導入した上での授業である。したがって定着を図る上で重要な指導となる。教科書本文の音読、ものが部屋のどこにあるかたずねたり、答えたりするペアワークとスキット作りとペアでの活動を2つ仕組んである。普段の授業では積極性が高いとは言い切れない学級の実態もあるのでこのペアワークを意欲的に進められるように机間指導を充実させたい。

本校では、基礎的・基本的な知識及び技能を活用する学習活動を通して、「基礎・基本を身につけ、意欲的に学ぶ生徒の育成」を研究目標に掲げている。本時における基礎的・基本的知識及び技能とは where の文と応答と意味・用法・形の理解である。そしてこれを活用する学習活動とは where の文とその応答を含むスキットを作り、暗唱することである。指導にあたっては次のような工夫を行った。

- 教科書本文の暗唱、スキット作り2つの活動でペアワークを仕組んだ。
- 相手の英語を聞き取り絵を描くという作業を取り入れた。
- 自分の理想とする部屋の見取り図を描いてくることは本時までの宿題とした。
- 基本本文の復習のためにピクチャーカードを用いて全員に指名して発表させる。

本時の授業で取り入れるスキット作りやペアでの暗唱活動を通して思考力や表現力を高めていきたい。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 ※ 教材、教具	評価 【評価場面】
導入 (10分)	<p>1 学習課題の把握 (1) あいさつ (2) Warm-up (3) 基本文型の確認</p> <p>例 Where is ...? It's in the box. It's by the desk. It's on the table It's by the chair.</p>	<p>※ピクチャーカード (PC) ○全員にテンポ良く行う。</p>	<p>場所を表す前置詞を適切に使うことができる。 (言語、文化についての知識・理解) 【指名】</p>
展開 (38分)	<p>2 課題の追求 教科書本文の音読 (1) 一斉練習 (2) ペアで練習 (3) 暗唱発表 (4) 本文について T or F</p> <p>3 課題の解決 【活用ポイント】 ペアの相手の部屋についてたずねて略画を描き、その部屋について質問し、その部屋に入った感想を伝える。 (表現)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> WS ③ A: I have _____ in my room. B: Oh! really? / Wow! / Oh, do you? Where is your _____? A: It is on (under, in, by) the _____. B: (略画を見せて) Is this your room? Your room is _____. </p> <p>(1) 会話例の練習 (2) ペアで会話 (3) () つのペアの会話を一斉で聞き取る (4) 発表する</p>	<p>※ワークシート① (WS) 理解度により WS の A または B を用いさせる。 ※付属 CD の TF</p> <p>※ WS ② A ※ WS ② B ○ペアで行う。B は聞き取ったことを略画にして A の部屋についてコメントする。 暗唱するようにうながす。</p> <p>○ユニークな部屋を取り上げて、全体の前で発表させる。</p>	<p>場所を表す前置詞を用いて正確に答えることができる。(言語・文化) 【机間指導、ペア発表】</p> <p>Where...?の文と応答の形・意味・用法を理解し表現している。(言語・文化) 【机間指導、ペア活動中の WS】</p> <p>Where を使い、お互いの部屋について適切に会話を進めている(表現)【ペア活動での情報やりとり及び全体での発表】</p>
終末 (2分)	<p>4 本時のまとめ 本時の学習内容を振り返る 5 次時の内容の把握 次時の予告と家庭学習の提示</p>	<p>※ WS ④ ワークブック</p>	

- ※ WS ① 本文を虫食いにしたもの (A 30%虫食い B 70%虫食い)
- ※ WS ② A 自分用部屋の見取り図 (宿題として前日までに書かせておく)
- ※ WS ② B 相手から聞き取って略画を描くためのシート (一人2~3枚)
- ※ WS ③ スキットを作るシート
- ※ WS ④ 日常生活で使うであろう Where の疑問文、あるいは今日覚えた文を何も見ないで 1~2文と今日の感想または自己評価を書くシート

A

Mike: Oh, no! I'm ()! Where's ()?

Mother: It's () the computer.

Mike: Where's ()?

Mother: It's () the desk.

Mike: Where's ()?

Mother: It's () your head!

B

Mike: () () Where's ()?

Mother: It's ().

Mike: Where's ()?

Mother: It's ().

Mike: ()?

Mother: ()!

Unit 8 Part 1(P.66・67) **はじめてのカナダ旅行**
英語学習シート②

例にならってペアの相手の部屋についてたずねて部屋に入った感想を伝える例文を作ってみよう。

A: I have _____ in my room.

B: (Oh! really? / Wow! / Oh, do you?)

Where is your _____ ?

A: It is on (under / in / by) the _____ .

B: (略画を見せて) Is this your room?

Your room is _____ .

A: I have

B:

Where

A: It is

B:

Your room is

Unit 8 Part 1(P.66・67)
英語学習シート③

はじめてのカナダ旅行

自分の理想とする部屋を作ろう。
下の部屋の図のどこかに物を置きなさい。線で結びなさい。また、すでに描かれている絵以外のものを置きたい場合、直接絵を描きなさい。

Unit 8 Part 1(P.66・67) **はじめてのカナダ旅行**
英語学習シート④ まとめ

1 (名前) の発表の内容をまとめよう。

() has () in his / her room.

It is () the ().

His / Her room is ().

2 次の英文を何も見ないで書きなさい。

① ボールはどこですか。

② 椅子の下です。

② 私のペンはどこですか。

④机の上です。

3 自己評価してみなさい。

① Where ...?を使ってものがどこにあるかたずねる文を理解することができた。

A B C
└───┬───┘

②場所を表す前置詞 (in / on / under / by) を使う答えの文を理解することができた。

A B C
└───┬───┘

③ 今日の授業の感想

[]